

## 社団法人北海道臨床工学技士会 役員選出選挙 立候補届出用紙兼選挙公報用紙

提出日 平成19年12月15日

選挙の種別	第4期 (理事)・監事 (いずれかに○印のこと：印が無い場合は無効です)				
ふりがな	アベマサミチ	性別	年齢	生年月日	会員番号
候補者氏名	阿部正道 (印)	男	50歳	s32.11.23	019
所 属	施設名： (医)養生館 苫小牧日翔病院				
	所在地： 〒 053-0803 苫小牧市矢代町2丁目9番13号				
	部 署： 臨床工学部		役職： 部長		
立候補理由 (抱負)					
<p>私は、多くの仲間に背中を押され第4期社団法人北海道臨床工学技士会の内部理事選挙に出馬する決意を致しました。仲間というのは、お互いに協力し助け合う事で信頼関係が出来るものではないでしょうか。(社)北海道臨床工学技士会はひとつの組織です。そしてその組織を構成しているのは会員で仲間です。仲間の声を技士会に反映させてより良い技士会になるよう微力を尽くしたいと思います。</p>					
推薦理由 (推薦立候補のときのみ)			推薦者氏名		
<p>我々は、第4期社団法人北海道臨床工学技士会役員選出選挙 (内部理事) へ阿部正道候補を推薦します。阿部正道候補は、誠実で公私ともに清廉潔白な人柄であり、私達の代表として (社)北海道臨床工学技士会内部理事を任せるにふさわしい人物と信じております。阿部正道候補は、旧道臨工理事、現 (社)道臨工評議委員その任期中の大半は学術委員会に所属し、また日本アフェレーシス学会北海道支部役員、北海道透析談話会世話人等、北海道の臨床工学技士育成の中心として力を注いでこられました。その経験と実行力は、(社)北海道臨床工学技士会でも十二分に生かされると確信する次第です。</p>			<p>世宏行 (印)</p> <p>佐藤利勝 (印)</p> <p>大澤貞利 (印)</p>		
経歴 (職歴)・所属学会等					
職歴：昭和52年5月～8月まで 名古屋増子病院 (現：増子記念病院) にて透析の研修を受ける					
昭和52年9月 札幌仁愛会外科クリニック 勤務 (開院にともなう)		昭和54年7月	左	記	退職
昭和54年8月 札幌東クリニック 勤務 (開院にともなう)		平成2年6月	左	記	退職
平成2年7月 (医)養生館 苫小牧日翔病院 勤務 (開室にともなう)		現在に至る			
所属学会：(社)日本臨床工学技士会 会員 (社)北海道臨床工学技士会 学術評議委員 北海道アフェレーシス研究会 幹事					
受理日	平成19年12月25日	選挙管理委員会	笹 孝明 (印)		

【注意】この用紙の枠内はそのまま選挙公報の原稿としてコピーして使用いたします。

選挙のいずれにも○印が無い場合、枠内の記載漏れがある場合は、立候補を受理できません。

推薦立候補の場合は、3名の推薦者が必要となります。無き場合は立候補を受理できません。